

—— 人を、社会を守る ——

# 弁護士のシゴト



# 法律のスペシャリストとして、 さまざまな問題を解決するのが 弁護士の仕事です！

弁護士は、社会の中で起こるさまざまなトラブルを防止したり  
解決したりするために働いています。

多くの弁護士が法律事務所に所属して仕事をしていますが、  
事務所(法律事務所)ごとに規模は異なり、  
弁護士が一人しかいない事務所もあれば、  
数百人の弁護士が所属している大きな事務所もあります。

また、現在では、会社員として働く弁護士や  
国や地方公共団体、国際機関などに

職員として勤めている人のほか、  
法律の知識を活かしながら国会議員を務める人もいます。

つまり、一言で弁護士といっても働き方はさまざま。

自分に合った職場や働き方が選べ、  
かつやく活躍できるフィールドが広げられるということも  
弁護士という仕事の大きな魅力みりよくなのです。

## 国際機関



## 法律事務所



### 弁護 太郎 (弁護士歴:10年)

自分が小さいとき、両親の悩みを解決してくれたのが  
弁護士さんでした。そのとき、親身に相談にのってくれ  
た姿がヒーローのようであつて良く、自分も弁護士を  
目指そうと思うようになりました。

法廷



企業



マスメディア



国・地方  
公共団体



### 法律 花子 (弁護士歴:5年)

何かのスペシャリストになりたい!人に喜んでもらえるような仕事がしたい!そんな気持ちでいたときに、テレビで観た弁護士さんの姿あこがに憧れて目指すようになりました。

# どんなトラブルを解決するの？

弁護士が解決を目指すトラブルには、

大きく分けると「民事事件」と「刑事事件」という2つの種類があります。

「民事事件」は日常の生活の中で起こる争いごとで、

弁護士は事件の当事者の一方の代理人となって困っている人の手助けをします。

また、「刑事事件」の場合、弁護士は犯罪の疑いをかけられた人(被疑者・被告人)を

弁護する役割を果たします。

## 「民事事件」とは…

- ・お金を貸したのに返してくれない
  - ・離婚や相続で争いになった
  - ・アルバイト代が支払われていない
- など



けいじ

## 「刑事事件」とは…

罪を犯したと疑いを持たれた人(被疑者)や、  
罪を犯したとして裁判所に  
起訴された人(被告人)の捜査・裁判での問題

など



弁護士  
MEMO

## 弁護士は法律をすべて暗記しているの？

弁護士は、法律をすべて暗記しているわけではありません。弁護士の仕事は、依頼者が抱えるさまざまな問題に対して、正確な事実を調査して理解すると同時に、その問題にどんな法律が関わってくるのかを的確に把握して、問題の解決を目指すことにあります。

法律を覚えていることが大事なのではなく、複雑な事実関係を整理して理解する力、関係する法律や過去の裁判例を調べて、適切な解決に役立てる力、問題を解決するための方法をさまざまな面から考える力が求められています。

# 弁護士の使命とは？

民事事件をどう解決するかということや、  
刑事事件においてどう刑罰を科すかということは、

すべて法律に基づいて行われます。

法律は、私たちの自由や権利などを保障し、

ときには権利と権利のぶつかり合いを調整する役割を果たしています。

弁護士は、この法律をしっかりと学び、正しく使う専門家なのです。

弁護士は「基本的人権を擁護し、社会正義を実現すること」を使命とし、

法律の専門家として人々の自由、財産、健康などの権利を守るとともに、

不正が行われることのないように、社会を見守り、

みんなが安心して暮らせる社会になるよう仕事をしています。

この使命を象徴するのが  
胸につけている「弁護士バッジ」です。  
外側の「ひまわり」は正義と自由を、  
中央の「はかり」は公正と平等を  
追い求めることを表しています。

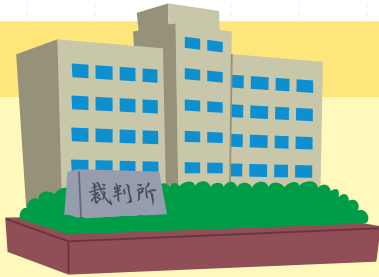


弁護士  
MEMO

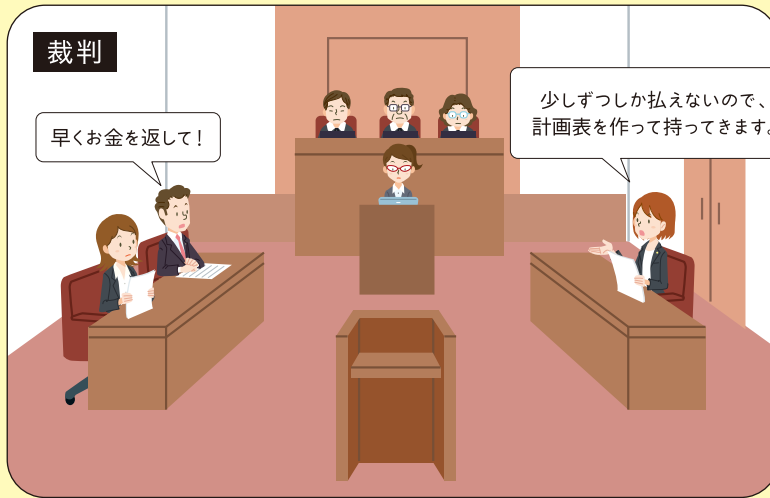
## 弁護士はなぜ逮捕された人を弁護するの？

警察に逮捕された人が本当に罪を犯したとは限らないからです。真犯人と間違われて警察に捕まることはドラマや小説の世界だけではなく、現実にも起こることです。ですから、捕まってしまった人の言い分をよく聞いて、もし本当に悪いことをしていないのならば、色々な証拠を集め、無実の罪を晴らさなければなりません。また、逮捕されている人が罪を犯してしまった場合にも、どうして罪を犯したのか、どれだけ反省しているかを明らかにして裁判官や裁判員に伝えることが必要です。弁護士が弁護人として手続きに関わることで始めて、適正な裁判が行われ、相当な刑罰が科せられるのです。

# 弁護士はどこで活躍しているの？



## 裁判所



## 法律事務所



弁護士の働く時間は人それぞれですが、多くの弁護士は朝から夜まで忙しく働いています。  
 弁護士がどんな日常生活を送っているのか見てみましょう。

## 弁護士会

遺産は誰かが  
 ひとりじめするのではなく、  
 子どもたち全員で  
 公平に分ける必要があります。



無実の罪で  
 捕まっている人のため、  
 みんなで協力を！

被災者の方々を助けるためには  
 どうすればいい？



## 拘留所・警察署



あなたがここにいることを  
 伝えてほしい人はいますか？

被害者にお詫びの  
 手紙を書きましょう。



事故現場の状況を  
 確認しておこう。



# “やりがい”を感じる瞬間は？

弁護士は「人を助ける」ことを仕事としています。トラブルを解決するのは大変なことです<sup>いっしょうけんめい</sup>ですが、一生懸命仕事<sup>いっしょうけんめい</sup>することで依頼者の役に立てるのは、とてもうれしいことです。多くの弁護士が、トラブルを解決したときの依頼者の安心した笑顔や感謝の言葉にいちばんの喜びを感じています。

## 学校での勉強は 弁護士になるために必要？



弁護士の仕事は、社会で起こるトラブルの解決です。そして、そのために大切なのは、どこにどんな問題があるかを見つけること。そう考えると、算数の問題を解くことも、本を読んで作者の思いを汲み取ることも、学級活動でクラスの問題をみんなで解決することも、すべてが役に立ちます。

また、弁護士は、トラブルに巻き込まれてしまった人たちに寄り添って解決に向けて取り組むため、自分と立場の違う人の気持ちを理解することが非常に大切です。色々な経験をすることは必ず役に立つでしょう。学校生活の中で、スポーツや勉強を頑張ったり、クラブ活動や委員会活動に奮闘したり、友だちとケンカしたり仲直りしたり…そういうすべての経験が弁護士になると生きてくるのです。

将来、弁護士になりたい、弁護士になるかもしれないあなた。まずは学校生活を大いに頑張<sup>がんば</sup>り、楽しんでください。

## どんな人が弁護士に向いているの？

弁護士は、いつも誰かを助けるために働いています。ですから、何より大切なのが「人を助きたい」「人の役に立ちたい」という純粋な気持ちを持っていることです。

また、弁護士の仕事はまず依頼者の話をじっくりと聞くことから始まります。ですから、クラスのリーダーになるタイプの人ばかりでなく、友だちの話を親身に聞くタイプの人<sup>いらいしゃ</sup>も弁護士に向いているのです。

きっとみなさんも、家族や友だちの役に立ちたいという気持ちを持っていることでしょう。そう考えると、弁護士はどんな人にも向いている仕事かもしれません。

それでは、あなたがどんな弁護士に向いているか、早速チェックしてみましょう！

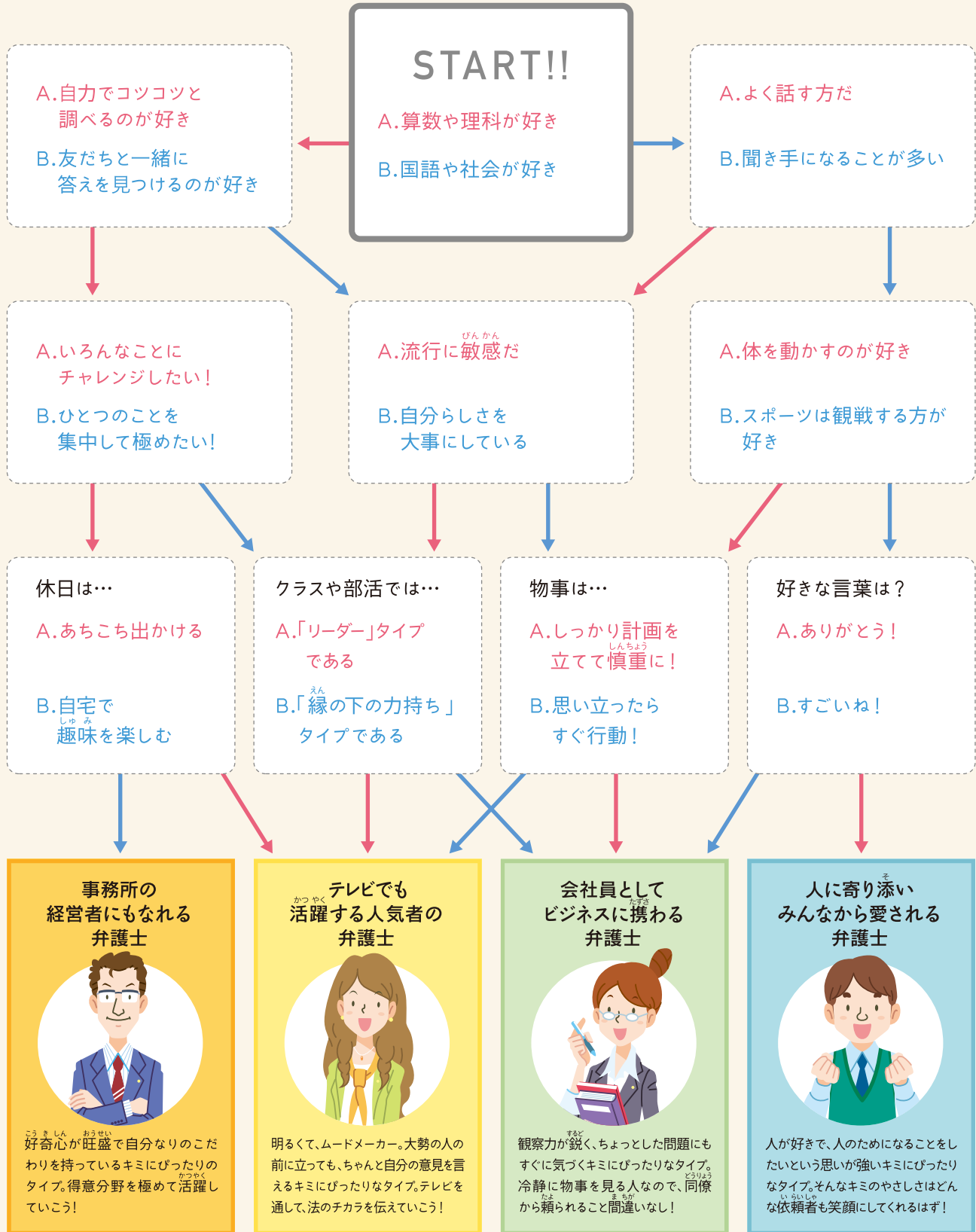


キミにぴったりの  
弁護士タイプは？

# 適性チェック!!

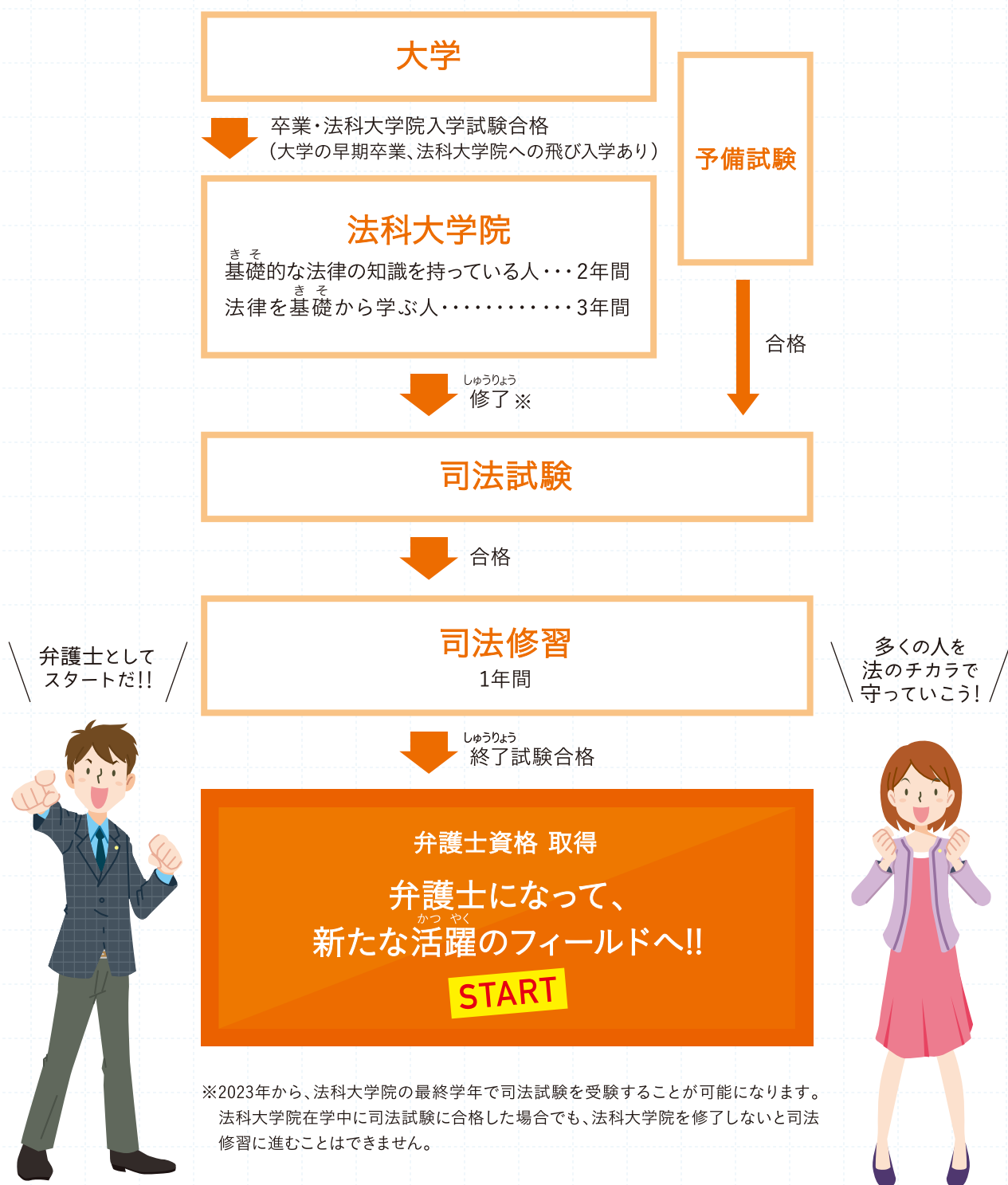
自分に当てはまるもの  
AかBを選びながら、  
チャートを進めていってくださいね。

A → B →



# 弁護士になるまでの道のり

本格的に弁護士を目指す場合、大学を卒業した後、  
法律のことを専門的に勉強する法科大学院<sup>しゅうりょう</sup>を修了し、司法試験にチャレンジします。  
合格した後、仕事に必要な知識や技法を学ぶ司法修習を終わらせることが必要となります。



※2023年から、法科大学院の最終学年で司法試験を受験することが可能になります。  
法科大学院在学中に司法試験に合格した場合でも、法科大学院を修了しないと司法修習に進むことはできません。

# 弁護士Q&A

**Q** 弁護士のこと、もっと知りたいときは？

このパンフレットを見て、もっと弁護士のことを知りたくなった人は、日本弁護士連合会のホームページにアクセスしてくださいね。

弁護士の仕事について、さらに詳しく紹介しています！

<https://www.nichibenren.or.jp/ja/kids/>

日弁連 子ども 検索

**A**



**Q** 弁護士に相談したいときはどうすればいいの？

弁護士は、子どもたちの権利を守るための活動もしています。学校に関するさまざまな問題(いじめ、体罰、学校での事故など)に悩んだとき、また親子関係や非行の問題などに悩んだときは、子どもの人権に関する相談窓口もありますので、ぜひ相談してください。

みなさんからの相談はもちろん、ご家族からの相談でも大丈夫です。地域によって実施している相談の内容はさまざまですが、面談での相談だけでなく、電話で相談できる場合やインターネットで相談予約ができる場合もあります。

ですから、困ったこと、悩んでいることがあったら、まずは住んでいる場所の近くの弁護士会を調べてみてください。

**A**





## 日本弁護士連合会

〒100-0013 東京都千代田区霞が関 1-1-3  
TEL.03-3580-9841 FAX.03-3580-2866  
<https://www.nichibenren.or.jp>